

安全未来特定認定再生医療等委員会

議事録要旨

第 294 回 7 部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-19-11 グランデール溝の口 502 号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 井上 陽

安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

第 294 回 第 7 部

2026 年 1 月 21 日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったので、その議事録要旨を作成する。

【議題】

東京Dタワーホスピタル

定期報告 ①「脂肪組織由来再生（幹）細胞を用いた変形性関節症に対する治療」

②「脂肪組織由来再生（幹）細胞を用いた慢性疼痛に対する治療」

③「慢性疼痛に対する脂肪組織由来幹細胞移植治療」

（申請者：管理者 長谷川 光広）

【日時場所】

日 時：2026 年 1 月 20 日（火曜日）第 7 部 18：50～19：25

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル

第1 審議対象及び審議出席者

1 出席者

出席者：委員については後記参照

陪席者：（事務局）坂口 雄治、坂口 千恵、細川 美香

2 技術専門員 樋口 淳也先生（関東中央病院 整形外科）

西村 大輔先生（赤坂ペインクリニック 院長）

3 配付資料

資料受領日時 2025 年 12 月 22 日

（本審査資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書

（事前配布資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書

（会議資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書

第2 審議進行の確認

1 特定認定再生医療等委員会（1，2種）の出席者による成立要件充足

以下の1～8の構成要件における2,4,5or6,8が各1名以上出席し、計5名以上であることが成立要件	氏名	性別（各2名以上）	申請者と利害関係無が過半数	設置者と利害関係無が2名以上
1 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家				
2 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者	佐藤 淳一	男	無	無
3 臨床医	高橋 春男	男	無	無
	平田 晶子	女	無	無
4 細胞培養加工に関する識見を有する者	角田 卓也	男	無	無
5 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家				
6 生命倫理に関する識見を有する者	依積田 ゆかり	女	無	無
7 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者				
8 第1号から前号以外の一般の立場の者	栃原 菊恵	女	無	無

* 佐藤委員、平田委員、栃原委員は、Zoomにて参加

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、「本再生医療等提供計画に関する役務の提供の関係による除外条件」も含めて、すべての条件を満たしていることを各委員に宣言した。

第3 審議

1 質疑

計画の科学的妥当性の評価方法の適切性及び当該評価の結果について検討を行ったほか、つぎのような質疑応答があった。

① 「脂肪組織由来再生（幹）細胞を用いた変形性関節症に対する治療」

事務局	当クリニックは昨年11月に法人化されたため、個人クリニックとして中止届を出され、今回は最後の定期報告となります。
角田	1例1件です。いかがでしょうか。
樋口	増悪しているとはいえ、有害事象がないのであれば、問題ないと思います。
角田	統計的に効果がどうかは言えないですが、法人化された提供計画の方で引き続きフォローをお願いします。教育研修については院外でやっていないよう

ですので、今後はしっかりやってほしいと思います。(一同合意)

② 「脂肪組織由来再生(幹)細胞を用いた慢性疼痛に対する治療」

事務局	こちら当クリニックは昨年11月に法人化されたため、個人クリニックとして中止届を出され、今回は最後の定期報告となります。
角田	7例7件です。いかがでしょうか。
高橋	元々の症状・病名の箇所が全て「慢性疼痛」と記載されていますが、何による慢性疼痛かがわかりません。31134の患者さんの場合、大腿部のツツパリが改善したと詳細に記載がありますが。
角田	慢性疼痛の原因となっている症状・病名がわかるよう、法人化された方の提供計画については今後記載していただきたいです。(一同合意)

③ 「慢性疼痛に対する脂肪組織由来幹細胞移植治療」

事務局	こちら当クリニックは昨年11月に法人化されたため、個人クリニックとして中止届を出され、今回は最後の定期報告となります。
角田	2例2件です。いかがでしょうか。
高橋	こちら元々の症状・病名の箇所が全て「慢性疼痛」と記載されていますが、何による慢性疼痛かがわかりません。 また、術前データの記載はある一方、投与日と経過観察日が同日になっています。
角田	本来であれば、継続して詳細を出し直していただきたいところですが、中止届を出されたということですので、安全性に問題はなかったこともあり、今回は適切と判断します。ただし、法人化された方の提供計画における定期報告については、今後適切に記載していただきたいということを議事録に残します。(一同合意)

2 判断

審査の結果、報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画に問題はないと全員一致で認められた。

ただし、慢性疼痛治療については、今後法人としての提供計画の定期報告をする時は、元々の疾患名を記載すること、観察の詳細に齟齬が生じないようにしっかりフォローし記録することを要諦する。

第4 審議結果

定期報告は適切である。

以上